

東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～地域産業の革新展開～ 平成 26 年度の目標達成状況と主な取組の進捗状況について

I 作成の趣旨

本資料は、平成 26 年 3 月に策定した東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～地域産業の革新展開～ に掲げられている目標の達成状況及び同プランに基づき実施する主な取組の進捗状況を東三河ビジョン協議会でとりまとめ、点検・公表するとともに、同プランのさらなる推進を図っていくためにまとめたものです。

II 目標の達成状況

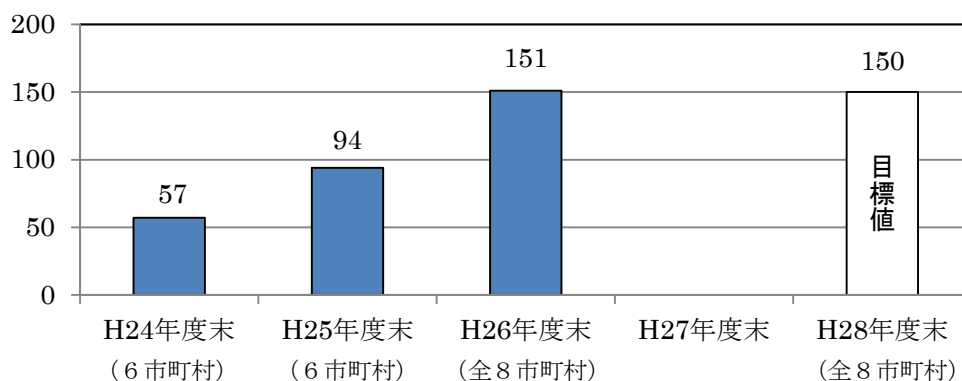
東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～地域産業の革新展開～ に掲げる 4 つの目標の達成状況は、次表のとおりです。

項目	数値目標	計画当初	達成状況
目標 1 次世代自動車充電インフラ(EV・PHV 用充電器)の設置 基数の増加	150 基 (全 8 市町村) (平成 28 年度末)	57 基 (6 市町村) (平成 24 年度末)	151 基 (全 8 市町村) (平成 26 年度末)
目標 2 次世代産業として育成等を 図る 6 つの産業分野の企業 立地件数の増加	24 件 (8 件/年) (平成 26～28 年)	6.8 件/年 (平成 20～24 年)	14 件 (平成 26 年)
目標 3 地域が連携して取り組む農 林水産物・食品の輸出品目数 の増加	15 品目 (平成 28 年度)	9 品目 (平成 24 年度)	15 品目 (平成 26 年度)
目標 4 長期的インターンシップの 受入企業数の増加	45 社 (平成 28 年度)	24 社 (平成 25 年度)	37 社 (平成 26 年度)

1 次世代自動車充電インフラ(EV・PHV 用充電器)の設置基数

- 次世代自動車充電インフラ(EV・PHV 用充電器)の設置基数については、平成 24 年度末から約 2.6 倍増加させ、平成 28 年度末には 150 基とすることを目標としています。
- 平成 26 年度末における設置基数は、151 基となり、平成 24 年度末から約 2.6 倍増加しました（設置済み市町村数は、平成 24 年度末には 6 市町村でしたが、平成 26 年度末には全 8 市町村に増加しました。）。
- これは、蒲郡市、豊橋市を始めとして、設置が順調に進んでいることによるものです。今後も「電欠なき愛知」を目指すためには、山間部等を含め、引き続き、設置を進めていく必要があると考えられます。

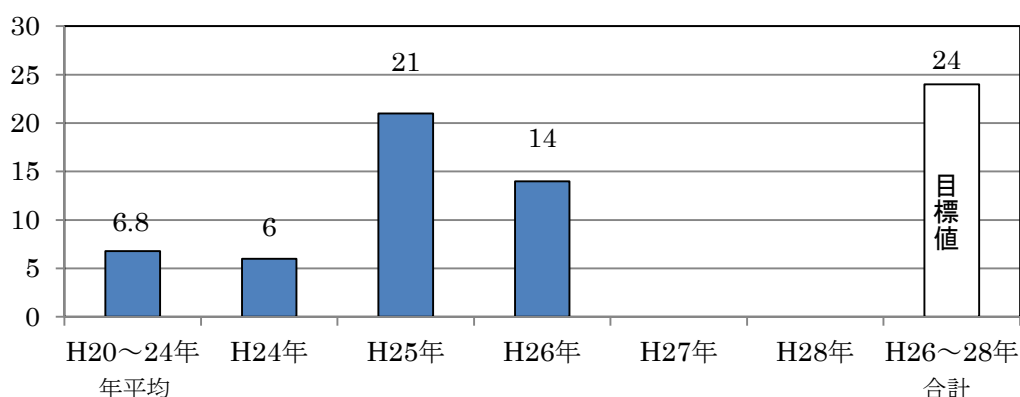
次世代自動車充電インフラ(EV・PHV用充電器)の設置基数の推移と目標値(基)



2 次世代産業として育成等を図る6つの産業分野の企業立地件数

- 東三河振興ビジョン(将来ビジョン)に掲げる「次世代産業として育成等を図る6つの産業分野」とは、輸送機械関連、健康長寿関連、農商工連携関係、新エネルギー関連、機械・金属関連、物流関連の6分野です。これらの企業立地件数については、平成20年から24年までの5年間の平均値から約20%増加させ、平成26年から28年までの3年間の平均値を8件とし、平成26年から28年までの合計を24件にすることを目標としています。
- 平成26年の企業立地件数は14件となり、平成20年から24年までの平均値である6.8件に対し約2.1倍の水準となっています。
- これは、6分野のうち、新エネルギー関連の立地が、平成25年以降増加していることによるものと考えられます。

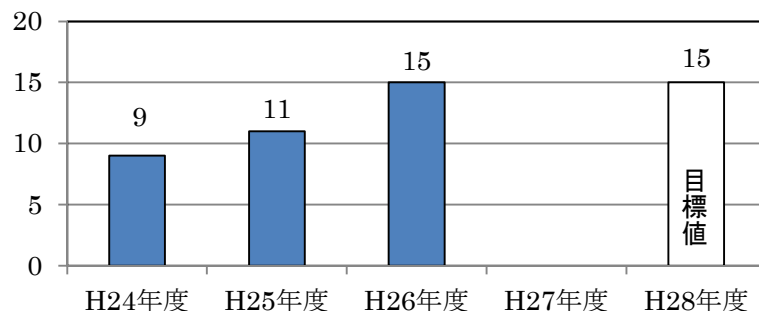
次世代産業として育成等を図る6つの産業分野の企業立地件数の推移と目標値(件)



3 地域が連携して取り組む農林水産物・食品の輸出品目数

- 地域が連携して取り組む農林水産物・食品の輸出品目数については、平成24年度から約70%増加させ、平成28年度には15品目とすることを目標としています。
- 平成26年度における輸出品目数は15品目となり、平成24年度から約70%増加しました。
- これは、豊橋市、田原市を始め、関係農業協同組合や食品加工業者等が連携して、主にアジア地域での販路開拓のための取組を積極的に展開していること、また、愛知県が海外で開催する「愛知フェア」において、東三河地域から継続的に出展されていることによるものと考えられます。

地域が連携して取り組む農林水産物・食品の輸出品目数の推移と目標値(品目)

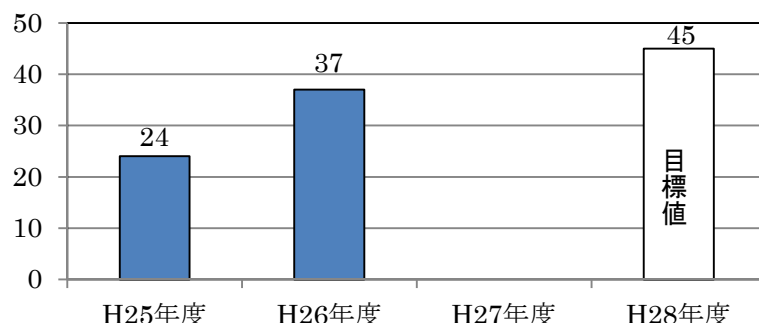


- 平成 26 年度における輸出品目は以下のとおり（東三河地域産業連携推進会議調べ）
アールスメロン、温州みかん、ミニトマト、トマト、大葉、巨峰、次郎柿、キャベツ、佃煮、日本酒、練製品、和風めん、精麦、ゼリー菓子類、米菓（順不同。）

4 長期的インターンシップの受入企業数

- 長期的インターンシップの受入企業数については、平成 25 年度の約 2 倍に増加させ、平成 28 年度には 45 社とすることを目標としています。
- 平成 26 年度における受入企業数は、37 社となり、平成 25 年度から約 1.5 倍の増加となりました。
- これは、企業側の採用意欲の高まりを背景に、企業向け研修や、企業経営者と学生との意見交換会等の実施を通じて、長期にわたるインターンシップ受入に対する理解が深まっているものと考えられます。

長期的インターンシップの受入企業数の推移と目標値(社)



Ⅲ さらなる地域産業の革新展開に向けて

- 東三河の地域特性を活かした先駆的な取組として、植物工場における技術開発、農林水産資源を活用した特産品開発、メガソーラーの建設、自動車産業観光ツアー、ヘルスケアツーリズム等が実施されています。今後も、恵まれた自然環境と豊富な地域資源を最大限に活用しながら、産学官の連携の下、次世代産業の創出・集積を進めるとともに、農林水産業のさらなる振興を図り、農商工のバランスのとれた力強い産業が展開する地域づくりを進めていく必要があります。
- 平成 27 年度に策定する主要プロジェクト推進プランのテーマとなっている「「ほの国」東三河ブランド戦略の推進」や「産学官連携による産業人材の育成」は、「地域産業の革新展開」における取組を、さらに推進、強化させるものと考えられます。その策定に当たっては、各取組主体がそれぞれの強みを活かしつつ、昨年度、設立された東三河広域連合とも十分な連携を図って進めていくことが重要と考えられます。

IV 平成 26 年度の主な取組の進捗状況

1 次世代産業の育成・振興

(1) 次世代自動車産業の育成・振興

<県> 愛知県次世代自動車充電インフラ整備・運用ガイドラインの作成

- 電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド自動車(PHV)の普及に必要な充電インフラの更なる整備を進めるため、今後、充電インフラを設置する事業者や市町村が、より円滑に充電インフラを設置・運用できるよう、あいち EV・PHV 普及ネットワーク参加者の協力を得て、「愛知県次世代自動車充電インフラ整備・運用ガイドライン」を作成。説明会等において、このガイドラインを活用し、事業者や市町村等による充電インフラ整備を促進。



(ガイドライン)

(2) 健康長寿産業の育成・振興

<蒲郡商工会議所・東三河広域経済連合会>

ヘルスケアツーリズム・モニターツアーの実施

- ラグーナテンボスにおいて、「健康『Design』探求の旅 2014～know why & know how～」を開催。アンチエイジングドック等の 17 のプログラムを実施。ヘルスケア分野における新産業創出の展開を支援。
 - ・開催期間：平成 26 年 10 月 9 日(木)～10 月 12 日(日)



(パンフレット)

<県> 医療・福祉機器産業参入支援事業

- 豊橋商工会議所において、「モノづくり企業のための医療機器産業参入基礎セミナー in 東三河」を開催。部材供給に必要な知識を提供する等、中小企業者が新たに医療機器産業分野に参入するための支援を実施。
 - ・開催日：平成 26 年 11 月 5 日(水)
- 介護・生活支援ロボット実用化検討会を開催し、産学連携・企業間連携を推進。



(セミナー)

(3) 新エネルギー産業の育成・振興

<県> 東三河地域再生可能エネルギー導入加速化事業

- 再生可能エネルギー導入促進のため、相談窓口としてサポートデスクを設置。
 - 農地における太陽光発電の設置に関する相談も多く、今後のさらなる普及に寄与。



(サポートセンター設置)

＜東三河広域経済連合会＞ ものづくり博 2014 in 東三河

- 「見て！知って！体験する！～東三河ものづくりの祭典～」をテーマに、豊橋市総合体育館において開催。86の企業・団体の参加を得て製造業の魅力・楽しさを発信。

併せて、新エネルギー産業に対する理解を深める取組として、バイオマスリサイクル事業に関するセミナーを実施。

- ・開催期間：平成26年10月31日(金)～11月1日(土)



(チラシ)

＜県＞ 新技術導入広域推進事業

- 新城市作手地区のトマト栽培施設及び設楽町名倉地区の鉢花栽培施設において、木質バイオマスを施設園芸等の暖房燃料として活用するため、薪ストーブの省エネ効果やコスト削減効果の実証試験を実施し、成果を発表。



(薪ストーブ「ゴロン太」)

2 地域の特徴を活かした産業集積の促進

(1) 産業用地開発等の促進

＜県・三河港振興会＞ 三河港の機能強化

- 県事業として、神野西地区におけるふ頭用地の拡張整備（平成26～29年度）や、蒲郡地区における水深11メートル岸壁の整備（平成27年3月一部供用開始）等を実施。
- 三河港振興会として、三河港の港湾機能の整備促進、施設及び運営の円滑化と充実を図るため、国・県への要望活動や関係企業への調査・研究事業を実施。



(三河港)

(2) 地域が一体となった誘致の取組強化

＜豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市＞ 東三河5市企業誘致推進連絡会議

- 自動車関連産業に関係する企業と東三河各市の首長が懇談し、企業誘致と企業集積を図ること、新たな誘致手法や企業サポート策を見つけ出すこと、企業操業に寄与するインフラ整備の提言を得ることを目的に、東三河5市企業連携懇談会を東京都内において実施。

- ・開催日：平成27年2月4日(水)

その他、東三河5市による相互協力事業を実施。



(東三河5市企業連携懇談会)

＜県＞ 愛知県産業立地セミナー2014 IN 東京

- 首都圏の主要企業、外資系企業に対し、愛知県の立地環境、立地優遇施策等を紹介するため、愛知県産業立地推進協議会等とともに、東京都内においてセミナーを開催。東三河からは、トップセールスとして蒲郡市長が参加。

- ・開催日：平成26年10月23日(木)



(知事プレゼン)

3 農林水産業の高付加価値化・市場の拡大

(1) 産業間連携の推進等による農林水産業の高付加価値化

<豊橋市> 植物工場普及促進事業補助金

- (株)サイエンス・クリエイトが実施する IGH(イノベーション・グリーン・ハウス)プロジェクトに係る経費を一部補助。豊橋技術科学大学、関連企業、県等の連携により、植物工場において国産大玉トマトを栽培。平成 26 年 12 月に第 2 作目が終了し、10a あたり 50 t という目標を達成。



(IGHプロジェクト)

<蒲郡市> あわび陸上養殖プロジェクト

- 「がまごおり産学官ネットワーク会議」を運営主体とし、旧市民プール管理棟内にクロアワビの陸上養殖装置を設置。県立三谷水産高校が試験養殖を実施。



(実験水槽)

<設楽町> 野生鳥獣解体加工所設置に対する支援

- 奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会に対して、「奥三河高原 ジビエの森」の施設整備を補助。
イノシシ・ニホンジカを食肉加工し、奥三河地域の飲食店等への食材供給を開始(平成 27 年 4 月から稼働)。



(奥三河高原 ジビエの森)

<東栄町> とうえい山菜王国プロジェクト

- とうえい山菜王国研究会が実施する山菜などの地域産物の栽培拡大や特産品開発を支援。ワラビの促成栽培に取り組むとともに、都会との交流事業等を実施。



(山菜の栽培)

<田原市商工会・渥美商工会>

「ベジフル田原」日本一の生産額を誇る田原市の野菜を使った特産品開発事業

- 田原産の野菜を活用した一般消費者向けの新商品を 3 分野(調味料、漬物、菓子)で 13 品目試作。平成 27 年 2 月、東京都内で開催された「第 17 回グルメ&ダイニングスタイルショー」に出展。



(グルメ&ダイニングスタイルショー)

<設楽町商工会・津具商工会・東栄町商工会・豊根村商工会> 奥三河 STT48 プロジェクト

- 奥三河 3 町村の 4 つの商工会が一体となり、奥三河地域の特産品、観光商品を開発。観光施設等での販売強化を実施するとともに、「売れる商品改良」等に関するセミナーを開催。



(STT48プロジェクト・もっくる新城にて販売)

＜県＞ 地産地消推進事業

- 県内農林畜水産物を利用して県内食品製造業者が商品化した「ふるさと食品」による、「愛知のふるさと食品コンテスト」を開催。「うずらたま5くん!!みそ味」が最優秀食品として選出。



(うずらたま5くん!!みそ味)

(2) 国内や海外マーケットへの販路開拓支援

＜県＞ あいちの農林水産物輸出拡大戦略事業

- 「愛知フェア in タイ・バンコク」を開催。
あいち国際戦略プランに基づき、平成26年度は県全体の取組として、タイ・バンコクをターゲットに戦略的に交流を推進した。東三河地域からは、豊橋市始め4者が出展。
・開催期間：平成26年9月5日(金)～9月14日(日)



(愛知フェア)

＜豊橋市＞ 豊橋産農産物海外販路開拓事業

- 「愛知フェア in タイ・バンコク」に出展。
ハウス次郎柿・巨峰・メロンを販売。
- シンガポール及びロシアのウラジオストクにおいても、新規販路開拓のための調査等を実施。ミニトマト、ミカンなどを試食販売。



(FOOD EXPO 2014)

＜豊橋市＞ 加工食品海外販路開拓事業補助金

- (株)サイエンス・クリエイトが実施した、香港の「FOOD EXPO 2014」への出展及びセミナー開催に係る経費を一部補助。練り製品、佃煮等の食品関連企業5社の出展を支援。
・開催期間：平成26年8月14日(木)～8月18日(月)

＜田原市＞ 農産物輸出戦略推進事業

- (一財)自治体国際化協会主催の、日本のふるさと名産食品展 in バンコクに出展し、トマト(ミディ・アイコ)、あさりせんべい等を販売。
・開催期間：平成26年11月14日(金)～11月24日(月)



(バンコクでの出展PR)

＜豊橋田原広域農業推進会議＞ 農産物輸出推進事業

- 香港において、日系百貨店、地元スーパー等でミニトマトを継続販売。

＜田原市＞ 野菜ソムリエ育成事業

- 野菜ソムリエの有資格者を育成し、「ベジエール渥美」を結成。食育・PR・勉強・レシピの4部会で活動し、田原市の野菜の品質や安全性、おいしさや調理方法等を消費者にPR。



(ベジエール渥美によるマルシェ出店)

<県> 愛知県産農産物の需要拡大推進

首都圏における農林水産物の販売促進活動を実施。

○ 農林水産祭 実りのフェスティバル

キャベツ、トマト、大葉、シクラメン、うずら卵の燻製等、東三河の農産物を PR。

・開催期間：平成 26 年 10 月 31 日(金)～11 月 1 日(土)

○ 愛知県 観光と食フェア

キャベツ、トマト、大葉、シクラメン等、東三河の農産物を PR。

・開催期間：平成 26 年 11 月 23 日(日)～11 月 24 日(月)

○ あいちの農産物トップセールス in 東京

キャベツ、トマト、ブロッコリー等、東三河の農産物を PR。

・開催期間：平成 27 年 2 月 14 日(土)



(知事トップセールス)

<県> 花の王国あいち需要拡大推進事業

○ 全国一の花き産出額を誇るあいちの花を暮らしに取り入れる「花いっぱい県民運動」を実施。

豊橋駅構内を始めとする県内施設における「今月のあいちの花」の PR や、花育教室の開催（平成 26 年度においては、東三河地域では、豊橋市・新城市・田原市の小学校各 1 校で実施）等を実施。



(花育教室)

4 産業人材の育成・確保

(1) イノベーションを促進する人材の育成・確保

<豊橋技術科学大学>

○ 社会人の学び直しシステムの構築・推進

地域産業、地域社会を支える社会人のキャリアアップ・システムの構築・推進を目指し、産官学の連携により、社会人キャリアアップ連携協議会を設立（平成 26 年 10 月 30 日）。各構成団体で実施する人材育成プログラムを共有・一元化する取組を推進。

その他、農業 6 次産業化人材養成コース等、オーダーメイド型カリキュラムを実施し、高度技術者を養成。



(社会人キャリアアップ連携協議会HP)

○ 地域課題解決のための人材育成

臨海部の 4 市と企業自治会等により「三河港湾防災・減災連絡会」を設置するとともに、企業等の防災担当者を受講対象とした「高度防災技術士育成コース」を実施。実践的防災担当者を養成。



(高度防災技術士育成コース)

○ 最先端植物工場マネージャー養成プログラムの開発及び実施

IT技術を活用した新たな植物工場の管理運営のできる人材を育成するための研修を開発。平成26年12月から平成28年3月までの予定で研修中。



(植物工場)

<豊川商工会議所・東三河広域経済連合会>

東三河産業アカデミー・人材育成セミナー

- 東三河の商工会議所・商工会が連携し、会員事業所を対象に、経営幹部及び管理監督者向けの人材育成セミナー等13講座を開催。



(MOT 講座)

<奥三河地域雇用創造協議会> 実践型雇用創造事業

- 「観光」「農商工連携」を重点分野として、「おとなが楽しむ手軽な田舎」をコンセプトに、奥三河地域における雇用創造事業を実施（平成26～28年度）。

奥三河高原「グリーン・ツーリズム」セミナーや、奥三河高原「ソールフード」セミナー等を実施し、地域情報の収集・編集力、地域資源を活用したプログラム開発・企画力等を持つ人材を育成。



(セミナー)

<東三河広域経済連合会> ものづくり博2014 in 東三河（再掲）

- 豊橋技術科学大学の協力により、3Dプリンターのデモンストレーションを含むセミナーを開催。

<県> 東三河地域産業人材育成事業

- 地域のイノベーションを支える人材育成や、大学生の地域定着等を図るため、地域資源を活用した起業支援講座（5～12月）や長期的インターンシップ（8～9月）を実施。インターンシップに対する企業の理解が深まるとともに、大学との連携が強化。



(インターンシップ)

(2) 若者の力を伸ばす地域連携の強化

<豊橋技術科学大学> 社会人の学び直しシステムの構築・推進（再掲）

<県> 東三河地域産業人材育成事業（再掲）